

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野シェアサイクル事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人安曇野市観光協会 安曇野市穂高 5952-3 電話：0263-82-3133
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,904,330 円 (うち支援金：4,535,000 円)

事業内容

平成30年度に導入した「HELLO CYCLING」を引き続き利用し、安曇野シェアサイクル事業を運営した。

1、2年目の走行ルートや滞留エリアのデータを参考に周遊バスやチケット制タクシーとも連携して最適なステーション配置を行い、利用促進のため自転車台数や車種も増やして運用し、更なる二次交通の拡充、周遊滞在時間の延長を図った。

- ・運営期間 令和2年4月から11月(8ヵ月間)
- ・料金設定 15分100円、12時間最大1,500円
- ・自転車 電動アシストクロスバイク
26インチ：40台 20インチ：10台
- ・ステーション 16ヵ所

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・1、2年目のデータ分析をもとに整備を進めた結果、コロナ禍においても利用が増加した。(1日平均利用台数：1年目の282%、2年目の109%)
- ・利用の増加と広報PRにより、周遊滞在型観光の推進に向けて二次交通網が整備された。
- ・データ量が増加したことで、より詳細かつ正確な分析が可能になった。
- ・観光事業者の参画で事業者間の連携が強化された。
- ・フォトラリーやサイクリングオアシスなど自転車観光事業に繋がり、サイクルツーリズムが推進した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

当該事業でシェアサイクルが整備でき、周遊バスやチケット制タクシーとの連携や松本市とのシェアサイクル相互乗入などにより、観光二次交通が拡充された。今後は持続可能な運営体制を整備しつつ、同時にシェアサイクルを活用した企画を実施していく。利用者を増やし事業収入を増加させることで継続可能な事業としていく一方で、様々な自転車観光事業と連携し、コロナ禍でも3密を避けて楽しめるという強みを活かし、安全安心な旅行商品の造成に繋げていく。シェアサイクルをキーとして観光二次交通の拡充と安曇野のサイクルツーリズム推進を同時に進めることで、周遊滞在型観光を促進する。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【シェアサイクル】

【目標・ねらい】

- ①二次交通の拡充を図り、観光スポットへの移動手段を整備する。
- ②自転車観光の推進により、周遊滞在時間の延長を図る。

※自己評価【 B 】

【理由】

1年目、2年目と利用が増えてきており、観光二次交通の拡充により、周遊滞在型観光の推進に一定の効果があつた。